

# いのちの言の葉2009

富山県教育委員会平成21年度いのちのメッセージ発信事業

## 「いのち」

富山市立速星小学校児童

平成21年12月1日・平成22年1月19日実施

## 【いのちの先生】

野澤 昌子先生

・たんぼぼ助産院 助産師

### 【授業の概要】

- 1 校長先生の話（「いのちの先生」の紹介）
- 2 いのちの先生の話
  - (1) 生命の誕生とその成長を知る。
  - (2) 自分や友だちの心音を聞く。
  - (3) 生後数ヶ月の赤ちゃんを見せてもらい、お母さんから話を聞く。
  - (4) 紙芝居「うまれてきてくれてありがとう」を見る。
- 3 校長先生のお話

### 【授業の成果】

- ・自分や友だちの心音を聴き、力強い音に驚き、生きている喜びを感じることができた。
- ・生後数ヶ月の赤ちゃんを見て、そのお母さんから生まれたときの心配や喜びを話してもらったり、赤ちゃんの名前にこめられた願いを聞いたりしたことで、自分も母親や家族に見守られて生まれてきたことを感じる事ができた。

赤ちゃんのことをいろいろ教えてくださいましてありがとうございました。このことは絶対に忘れません。お母さん方の赤ちゃんも元気に育っていくといいですね。紙芝居を読んでもらっているとき涙が出そうでした。



いのちって大切なんだと思いました。生まれてくるときお母さんだけがうれしいと思っていたけど、今日いのちの授業で、周りの人もうれしいんだなと思いました。私は、今からでも産んでくれてありがとうと言いたいです。

いのちのお勉強を教えてくださいましてありがとうございます。赤ちゃんのことがよく分かりました。私の家にも赤ちゃんがいるので教えてくださいました。紙芝居のこともよく分かりました。赤ちゃんが生まれてきてくれてとてもうれしそうにしていました。

助産師さんは赤ちゃんを産むお手伝いをされていてとてもすごいと思いました。紙芝居では、いのちの大切さを教えてくださいました。大人になっても助産師さんに教えてもらったことを忘れないようにします。また速星小学校にきてください。

いのちの授業を受けてまず思ったのは、私もあんなに小さかったんだということです。心臓の音を聞くとすごい音がでていてびっくりしました。紙芝居の中の赤ちゃんの心臓の音や声がとても大きかったです。みんなと同じ、私もがんばって生まれたのだなと思いました。私はママからもらったいのちが一番の宝物です。